

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和3年度末）

＜進捗の目安＞	
◎ 順調	: 目標値以上
○ 概ね順調	: 基準値以上
× 努力が必要	: 基準値以下
-	実績なし

基本目標 1 いきいきと輝き続ける“ひと”

若い世代の結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえ、次代を担う子どもたちが健やかに育ち、子どもから高齢者まで、誰もが生きがいを持ち地域で活躍する郷土愛にあふれたひとづくりを進めます。

■ 数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値	実績値				目標値	備考
		H30	R2	R3	R4	R5	R5	
年間出生数	実績値	20	22	19			25	住民基本台帳（1～12月）
	達成状況		○	△				

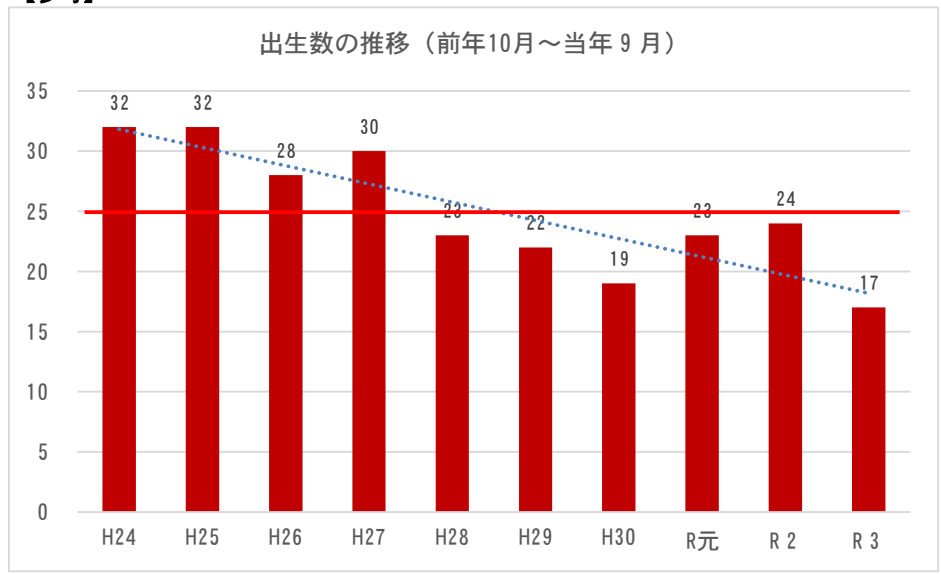
■ 数値目標の分析

【出生数】
 ・令和3年度の出生数は17人で、直近10年間で最低の人数となった。
 ・直近10年間の平均出生数は、25.0人/年（昨年：27.1人/年）
 ・5年間に区切って見ると、前半（H24～28）の年平均は29.0人、後半（H29～R3）の年平均は21.0人となっており、比較すると8人減少している。

【婚姻数】
 ・令和3年度の婚姻数は5件で、直近10年間で最低の件数となった。
 ・直近10年間の平均婚姻数は13.0件/年（昨年：13.8件/年）
 ・5年間に区切って見ると、前半（H24～28）の年平均は16.8件、後半（H29～R3）の年平均は9.2件/年であり、比較すると8件程度減少しており、婚姻数は減少している。

【18～40歳人口の状況】
 ・平成24年時点では男性687人、女性522人であったものが、令和3年時点で男性が429人（△258人）、女性が331人（△191人）となっており、10年前の62.9%となっている。
 ・女性人口に対する出生数の割合を見ると、10年間平均では5.8%となっており、5年間に区切って見ると、前半（H24～28）の年平均が6.0%、後半（H29～R3）の年平均は5.6%となっており、0.4%減少している。

【参考】



戦略 1	光り輝く“ひと”づくりプロジェクト
-------------	--------------------------

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
子育てしやすい環境の整備	合計特殊出生率	実績値	1.64	1.66	1.74				2.20	岩手県環境保健研究センターより (参考) ・全国：1.33 ・岩手：1.30
		達成状況	/	○	○				/	

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
子育て環境充実事業 【健康福祉課】 【住民会計課】 【こども教育課】	拡充	【事業内容】 ・保育料や医療費、給食費の子育て世帯に対する経済的支援と子育て・保育サポート体制の充実 他 【事業実績】 ・子ども医療費助成 4,828件 (10,141,961円) ・学び輝く“ひと”づくり支援給付金 小学校：133件 (8,635千円) 中学校：88件 (8,975千円) 高校：28件 (1,120千円)	・子ども医療費助成については、県の医療費助成制度に加え、町独自施策を継続し、対象範囲を高校生まで拡大していることで、子育て世帯の負担軽減が図られている。 ・また、子どもたちの“学び”に必要な経費の一部に対して町独自の支援を行うことにより、児童生徒の保護者の経済的負担の軽減が図られている。
くずまき出会いサポート事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・独身男女の出会いづくりのサポート及び各種交流事業の開催 【事業実績】 ・くずまき出会いサポート業議会総会議8回 ・出会いサポート事業1回(参加者8人) ・仲人実績1組	・独身男女の出会いを支援することを目的として「DIY交流会」を開催し、8人の参加があった。 ・会員登録している男女各1名(1組)が結婚した。 ・「いきいき岩手結婚サポートセンター」には新たに3人の登録があった。
マタニティライフサポート事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・出産前に必要な用品購入や妊婦健診時の移動・宿泊に係る費用を助成 【事業実績】 ・23人(1,065,100円)	・妊婦へ一律5万円を支給しているが、出生数は横ばいから減少傾向にある。 ・令和3年度から開始した「出産祝金」と合わせて、出産・子育て支援の更なる充実を図る。 ・庁舎内の関係課や関係機関等と連携し、所得の向上や就労環境の充実、多様化への対応など、子育て環境の更なる充実を図る必要がある。
不妊治療費助成事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・不妊治療に要する費用の一部を助成 【事業実績】 ・特定不妊治療 1人(150,000円) ・一般不妊治療 なし	・令和4年から不妊治療が保険適用となるため、保険適用外部分の支援を検討する必要がある。
保育施設再整備事業 【こども教育課】	新規	【事業内容】 ・保護者のニーズや「保・小接続プログラム」を推進するために、小学校に隣接した保育施設の再整備 【事業実績】 ・実績なし	・町立保育所の老朽化が著しいことから、優先順位を定めて施設整備を進めていく必要がある。 ・令和4年度は五日市保育園の園舎の実施設設計を行う予定としており、河川近くに立地する現園舎を五日市小学校の敷地内に移転することにより、園児の安全確保と保小連携教育の充実を図る。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
次代を担う人材教育	葛巻高校入学者数	実績値	46人	49人	56人	46人		42人	こども教育課調べ (参考) ・町内：28人/42人(入学率：66.7%) ・定員充足率：56人/80人(70.0%)	
		達成状況		◎	◎	◎				

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
コミュニティ・スクール設置事業 【こども教育課】	新規	【事業内容】 ・全小中学校において、コミュニティ・スクールを設置 【事業実績】 ・ふるさとキャンパス推進委員会開催（令和4年度～協議会設置） ・設置数：7校（全5協議会）	・「ふるさとキャンパス構想」に基づき、キャンパスごとに、年間計画を位置づけた上で、授業交流研修会や集合学習、交流学习等を実施した。 ・令和4年度から学校運営協議会制度を導入するため、ふるさとキャンパス全体構想を策定し、推進委員会を立ち上げ準備を行った。
就学前教育充実事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・幼児期における発達段階に応じた学習や体験活動を充実し小学校入学後の義務教育へのスムーズな移行 【事業実績】 ・バイオリン学習の実施（全34回） ・幼児教育アドバイザー：1名	・年長児・小学校低学年を対象にバイオリン学習を実施することにより、情操教育の充実が図られているとともに、各種発表会等への参加により、貴重な体験を積むことができています。 ・幼児教育アドバイザーによる巡回指導等を実施し、幼児教育の視点を取り入れた保育士の資質向上に努めた。
保育園・小学校・中学校・高等学校教育連携事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・各種学校間の教育連携の継続・強化による基礎学力向上と一貫した児童生徒指導の実践 【事業実績】 ・各支援員の配置 学校教育アドバイザー（1名） 学力向上支援員（3名） 外国語教育支援員（1名） 特別支援教育支援員（5名） 心の教室相談員（3名） 部活動支援員（6名）	・中高一貫教育として、英語・数学を中心とした授業交流や部活動交流、進路指導、生徒指導等により、中高6年間を通じた系統的、継続的な指導を実施した。 ・保小連携研修会を開催し、保育園と小学校の効果的な接続の実現に向けて、小学校生活につながる情報交換や情報共有をし、児童の側に立った保・小の接続・連携の在り方について知見を深めた。
くずまき山村留学制度推進事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・山村留学生の受入れや寄宿舎運営体制の充実 ・山村留学生確保に向けた情報発信と全国ネットワーク「地域みらい留学推進協議会」への参画 【事業実績】 ・山村留学生：34人（1年：10人、2年：15人、3年：9人）	・山村留学生の人数が3年続けて10人以上となり、寄宿舎整備及び地域みらい留学推進協議会への参画等、これまでの取組みの成果が表れている。 ・山村留学生に人数が増えることで、関係者等による山村留学生へのサポート体制の充実が重要となる。
葛巻町学習塾運営事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・個々の学習ニーズに合わせたフォロー ・Birth47に管理運営業務を委託 【事業実績】 ・利用生徒数：114人（利用率：80.9%）	・令和3年度の国公立4年制大学への進学者が10人となるなど、塾による学習支援の成果が表れている。 ・今後は、葛巻高校から難関大学及び医療系大学への進学が期待される。
奨学金支援事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・看護職員等養成修学資金貸付制度の活用促進 ・UIターン者に対する奨学金返済支援を検討 【事業実績】 ・看護師：2名(1,680,000円) ・薬剤師：1名(840,000円) ・作業療法士：1名(1,080,000円)	・制度創設から順調に利用されており、町内の医療従事者確保のために継続実施すべきである。 ・償還免除は卒業から2年以内に町内の事業所に勤務する必要があるため、町外で数年経験を積んでから町内に就業する選択肢があれば、利用者・雇用主双方にとってベターと思われる。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
高齢者の生きがいづくりと地域福祉の推進	要介護認定率	実績値	22.7%	23.6%	24.1%			22.0%	健康福祉課調べ	
		達成状況		×	×					

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
高齢者福祉施設整備事業 【健康福祉課】	新規	【事業内容】 ・高齢者相互の交流機会の創出及び生きがい活動を推進するための拠点整備 【事業実績】 ・用地取得(7680.70㎡) 24,597,440円 ・実施設計業務委託: 15,562,800円 ・敷地造成工事: 17,465,800円 ・施設本体工事契約額: 438,900,000円	・令和3年度については、用地取得、実施設計、造成工事を経て、施設本体工事に着工し、令和4年8月末の完成を目標としているもの。
ボランティア活動推進事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・ボランティア募集や交流会、養成講座等の開催 【事業実績】 ・ボランティア登録者数: 275人 ・各種事業へのボランティア参加(配食サービス事業: 延べ360人)	・ボランティア登録者数については、275人と前年より28人増加している。 ・令和3年度は、昨年度、新型コロナウイルスの実施できなかった、ボランティア募集等の啓発活動や養成講座を開催することができた。 ・福祉関連事業の実施については、地域住民の共助体制が不可欠であるため、更なる普及推進に努めていきたい。
地域包括ケアシステム構築事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・高齢者が住み慣れた地域や自宅で快適な生活を送るためのケア体制の充実 【事業実績】 ・要支援認定者数: 165人 ・要介護認定者数: 508人 (介護予防教室、シルリハ体操の日: 49回開催) ・認知症サポーター養成講座修了者数: 1,569人 (認知症カフェ: 1回開催、認知症サポーター養成講座: 2回) ・認知症スクリーニング事業実施件数: 219件	・要支援、要介護認定者数については合計で673人と前年より17人増加している。認定者は増加傾向であるが、サービス利用するために必要な手続きであることも増加の一因であると推測される。 ・令和4年度については、認定者の重度化を予防するため、介護予防事業の更なる推進に努めるほか、認知症スクリーニング事業による早期発見・予防に努めていきたい。
シルバー人材センター等総合支援事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・生きがい就労活動や相互支援活動 【事業実績】 ・シルバー人材センター会員数: 33人 ・シルバー人材センター受託件数: 133件 (草刈り、庭木の手入れ、除雪作業など)	・令和3年度については、会員数が33人と前年より5人増加し、受託件数についても、133件と前年より27件増加となっており、くずまきテレビでの放映等により、シルバー人材センター事業の浸透度が深まりつつある。 ・今後も高齢者の就労活動の機会向上と住民にとって気軽にサービス利用できるような仕組みづくりに努めていきたい。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
文化・スポーツ活動の 機会づくり	生涯学習講座等参加割合 (対人口比)	実績値	29.6%	20.7%	26.3%			35.0%	まなび交流課調べ	
		達成状況		×	△					
	スポーツ教室参加者割合 (対人口比)	実績値	37.1%	27.2%	26.9%			40.0%	まなび交流課調べ	
		達成状況		×	△					

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
生涯学習施設環境充実事業 【まなび交流課】	新規	【事業内容】 ・新庁舎建設を機会に生涯学習施設の整備充実と教室や講座メニュー、人材育成等のソフト面の充実 【事業実績】 ・「町民まなびい学園」35講座 225回 延べ3,032人	・多種多様な講座、教室を実施し、対象者が自ら学びの場を選択する機会を設けた。 ・コロナ禍で講座の開催が困難な状況であったが、在宅でできる講座を「くずまきテレビ」を活用して実施するなど、工夫して学びの場を設けた。
文化活動支援事業 【まなび交流課】	新規	【事業内容】 ・町民の自主的な文化活動の支援と文化交流の促進による交流人口の拡大 【事業実績】 ・生涯学習フェスティバル文化展の開催 参加17団体 出品1,048点 ・文化活動支援事業補助金 利用団体8団体 328,300円	・町民が心豊かで充実した人生を送るため、町文化協会を中心とした文化芸術団体、サークルを支援することで、主体的な文化活動を奨励した。 ・「文化活動事業補助金」について、更に周知することで利用促進を図り、各種団体等の自主的な活動推進につなげる必要がある。
スポーツツーリズム奨励事業 【まなび交流課】	継続	【事業内容】 ・町のスポーツ施設を利用した大会の主催者や合宿利用者への支援 【事業実績】 ・スポーツ合宿等宿泊費補助金 5団体 延べ236人 316,488円 ・スポーツ大会等誘致運営費補助金 2団体 239人 30,000円	・コロナ禍の中、スポーツ大会や合宿の誘致が困難な状況であったが、感染症予防対策を講じながら、前年度実施できなかったスポーツ大会を一部実施するなど、スポーツツーリズムの推進を図った。 ・新たな大学等の合宿誘致につながるよう、合宿誘致相談会等での営業活動を積極的に実施するほか、合宿利用した団体等と意見交換を図りながら、リピーターの獲得に努める。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
未来を協創するまちづくりの推進	地域づくりリーダー研修会実施	実績値	—	0回/年	0回/年				1回/年	
		達成状況		×	×					

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
まちづくり検討会実施事業 【政策秘書課】	新規	【事業内容】 ・まちづくりに関する住民参画機会の創出とまちづくり人材の育成 【事業実績】 ・実績なし	・町民の町づくりに関する意見交換等の機会を設け、住民参画を促すとともに、将来のまちづくりを担う人材を育成する必要がある。
協創（協働）のまちづくり事業 【総務課】	拡充	【事業内容】 ・協創の姿勢により、将来のまちづくりにつながる取組への支援 【事業実績】 協創のまちづくり補助金：実施事業数3事業、補助額625,100円 自治会活動交付金：34自治会、交付額18,846,000円 コミュニティ助成事業：1自治会、助成額2,500,000円	・自治会活動交付金及びコミュニティ助成事業については例年と同水準となった。一方で新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き協創のまちづくり補助金の実績は低水準となった。

■ 効果検証の結果

有識者会議及び議会の結果

＜年間出生数＞

- ・ “婚活イベント”は、成果が出にくいのではないかと。 “出会い”を求めるだけでなく、若者が集う会議・イベントを仕掛けてはどうか。
- ・ 出生数の増加・維持を図るためには、“婚姻”に捉われず、“事実婚”の容認や“パートナー制度”の導入など、新たな仕組み（風土）づくりが求められる。

① 子育てしやすい環境の整備

- ・ 共働きの家庭が多い。育児休暇を取りやすい環境の整備が求められる。
- ・ 「学び輝く“ひと”づくり支援給付金」等、子育て支援は県内でも充実している。
- ・ 「出会いサポート事業」「マタニティライフサポート事業」「不妊治療費助成事業」等について、相談しやすい環境づくりが求められる。
- ・ 「保育施設再整備事業」について、スピード感を持って対応してほしい。また、保育園と小学校の連携や、保育園の統廃合等も視野に入れて検討を進めてほしい。

② 次代を担う人材教育

- ・ 葛巻高校に対する支援は充実している。また、ただ人数を集めるだけでなく、優秀な生徒を呼び込めるような対策が求められる。
- ・ 山村留学生について、町民との関わりを持てる施策が求められる。（町民の家に下宿する等）
- ・ 卒業後の山村留学生との関わりが重要になる。山村留学生との関わり方や担当部署を明確にし、対応することが求められる。

③ 高齢者の生きがいづくりと地域福祉の推進

- ・ 「高齢者福祉センター」の有効活用が求められる。（お風呂の回数の増加など）
- ・ KPIの「要介護認定率」について、指標の設定・目標が良いか検討すること。（今後、認定率は増加することが想定される）

④ 文化・スポーツ活動の機会づくり

- ・ 野球場が使用されていない状況。野球以外の用途でも使用方法について検討すること。
- ・ 町民から“パークゴルフ場”と“キャンプ場”の整備を求める声がある。
- ・ 冬のスポーツ活動の充実について検討すること。（アイススケートリンクの整備等）

⑤ 未来を協創するまちづくりの推進

- ・ 商工会、農協、森林組合の青年部、青年会等を主体に研修会をしてはどうか。
- ・ 若い人達が集まる場所が少ないため、複合施設があれば良い。
- ・ 子ども達（中高生）の意見を聞く機会を設けてはどうか。
- ・ 「地域づくりリーダー研修会」について、年1回の開催では足りないのではないかと。
- ・ 自治会活動について、高齢化により環境整備などの活動が難しくなっている。今後の在り方について検討が必要である。

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和3年度末）

＜進捗の目安＞	
◎ 順調	: 目標値以上
○ 概ね順調	: 基準値以上
× 努力が必要	: 基準値以下
-	実績なし

基本目標 2 誰もが住みたくなる“まち”

町が持つ自然、空間を大切にしながら、情報通信技術の活用や道路交通網の整備等により生活環境の快適性を高め、町での暮らしを求める人の流れを作り出すとともに、若者を始め誰もが心安らぐ快適な生活を送ることができる環境づくりを進めます。

■ 数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値	実績値				目標値	備考
		H30	R2	R3	R4	R5	R5	
人口の社会動態	実績値	△54人	△44人	△31人			△35人	住民基本台帳（1～12月） ※実績値（R3）：転入者115人、転出者146人、社会増減△31人
	達成状況		○	◎				

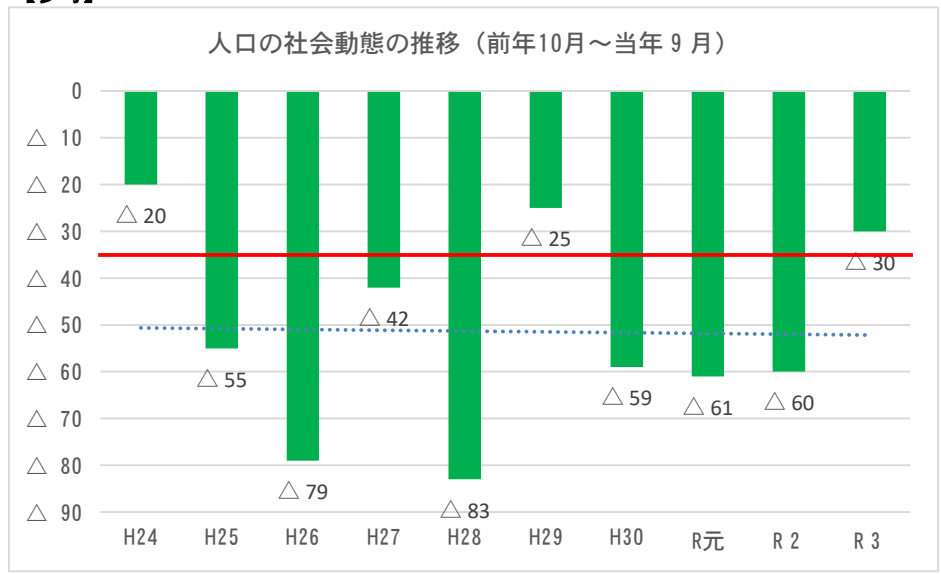
■ 数値目標の分析

【転入の状況】
 ・直近10年間の平均転入者数は128.5人/年（昨年：133.0人/年）
 ・5年間に区切って見ると、前半（H24～28）の年平均は140.6人、後半（H29～R3）の年平均は116.4人となっており、比較すると24人程度減少している。

【転出の状況】
 ・直近10年間の平均転出者数は179.9人/年（昨年：185.5人/年）
 ・5年間に区切って見ると、前半（H24～28）の年平均は196.4人、後半（H29～R3）の年平均は163.4人となっており、比較すると33人程度減少している。

【社会増減】
 ・直近10年間の平均社会増減数は△51.4人/年の社会減（昨年：△52.5人）
 ・5年間に区切って見ると、前半（H24～28）の年平均△55.8人、後半（H29～R3）の年平均は△47.0人となっており、比較すると社会減が8.8人減少している。
 ・増減率は、近年△1.0%程度だったものが、令和3年度は△0.52%となった。

【参考】



戦略 2	魅力あふれる“まち”づくりプロジェクト
-------------	----------------------------

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値			目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	
若者世代が暮らしたくなる 住宅環境の整備	若者定着率	実績値	32.5%	55.0%	38.5%			5年前の15～19歳人口に対する20～24歳人口の比率（10/1現在） ※実績値（R3） H28年の15～19歳：192人 R3年の20～24歳：74人
		達成状況	/	◎	○			

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
定住促進住宅整備事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・定住促進住宅及び子育て世代定住促進住宅の整備 【事業実績】 ・令和3年度は新規住宅の整備は無し。	・整備済みの全30世帯分の定住促進住宅等の運用状況を鑑みて、今後の新規住宅の整備計画を検討する。 【入居状況（R3末）】 23世帯/30世帯
民間賃貸住宅等確保促進事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・町内の事業者等と連携した民間の賃貸住宅等の確保事業 【事業実績】 ・民間の賃貸住宅の入居状況や、新規整備状況について情報収集に努めた。	・引き続き、若年層を中心とした世代の住宅確保支援のため、民間の賃貸住宅の整備状況に関する情報収集に努める。
空き家活用促進事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・空き家バンク登録事業、空き家リフォーム事業、土地情報提供事業 【事業実績】 ・空き家バンク新規登録：5件 ・空き家活用奨励事業：3件	・空き家の利活用をより一層促進するためには、空き家活用奨励事業を再点検し、空き家所有者の残置物撤去等に係る負担軽減を図る必要がある。 【空き家バンク登録件数（R3末）】 8件
水洗化普及支援事業 【建設水道課】	継続	【事業内容】 ・水洗化工事に係る経費の一部助成 【事業実績】 ・助成件数：14件（5,375,000円）	・水洗化率は年々増加しているものの、県平均を下回っている状況である。 ・高齢者世帯の増加により、住宅の建替えや改築を先送りする傾向があり、水洗化の普及が進みにくい状況である。
住宅取得支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・子育て世代移住者への住宅取得支援、町民の定住対策としての住宅取得支援 【事業実績】 ・新規住宅3件 ・中古住宅3件	・住宅取得支援事業は、定住奨励事業や新婚ライフサポート事業、若者定住家賃助成事業等と合わせて、若い世代の定住支援に一定の効果을上げている。

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
住宅リフォーム支援事業 <small>【いらっしやい葛巻推進課】</small>	拡充	【事業内容】 ・快適な住環境づくりに向けたリフォーム支援、断熱改修に対する支援拡充を検討 【事業実績】 ・助成件数：26件、助成総額：3,567,000円	・町民の快適な住環境づくりを促進する「快適な住まいづくり応援事業」は制度創設から9年が経過し、事業内容の見直しを図っていかねばならない時期を迎えている。
くずまき型エコハウス推進事業 <small>【いらっしやい葛巻推進課】</small>	新規	【事業内容】 ・葛巻の寒さに対応するエコで暖かい住まいづくりの推進 【事業実績】 ・エコハウス関係者意見交換会1回	・現行の住宅リフォーム助成事業とエコ・エネ総合対策事業の内容を検証し、住宅の断熱化を促進するための助成事業や「エコハウス認証制度」等について検討を進める。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
交通ネットワークの充実	道路改良率	実績値	71.5%	72.2%	72.3%			73.0%	建設水道課調べ	
		達成状況		○	○					
	路線バス1便当たり利用者数	実績値	5.31人	4.68人	4.24人			5.31人	政策秘書課調べ	
		達成状況		×	×					

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
生活関連道路網整備充実事業 【建設水道課】	継続	【事業内容】 ・生活関連道路の拡幅改良等 【事業実績】 ・町道茶屋場田子線 ・町道葛巻浦子内線 ・町道愛羅瀬線 ・町道追鍋線 ・町道廻立線	・道路は日常を支えるうえで重要な社会資本であることから、引き続き、拡幅改良等により、利便性、安全性、快適性の向上を図る必要がある。
地域高規格道路整備促進事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・北岩手北三陸横断道路の整備促進活動 【事業実績】 ・総会：書面開催（R4.2.3）、決起大会：中止 ・要望活動：岩手河川国道事務所、東北地方整備局（R4.3.16）	・令和3年6月に「岩手県新広域道路交通ビジョン」「岩手県新広域道路交通計画」が策定され、「北岩手・北三陸横断道路」は、高規格道路としての役割が期待されるものの、個別路線の調査に着手していない「構想路線」として「（仮称）久慈内陸道路」の名称で位置付けられた。 ・今後、次の段階となる個別路線の調査に着手するとともに、高規格道路として早期に着工・整備されるよう、要望していく。
路線バス維持対策事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・100円バス化による利用促進、広域路線の維持対策 【事業実績】 ①利用実績：JRバス 30,791人（前年比：△3,411人） 県北バス 4,448人（令和3年度から乗車人数を把握） ②増便対策：JRバス 葛巻線：5.5往復⇒7.5往復（増便） 大平橋線：3.5往復⇒5.5往復（増便） 県北バス 葛巻線：2.0往復⇒3.0往復（委託運行）	・町民の足である生活交通を確保するため、路線バスの増便や委託運行等により、利用しやすい環境を整備するとともに、高齢者をはじめとした路線バス利用者の負担軽減と利用促進を図るため、路線バス事業者及び利用者に対して助成金を交付した。 ・県北バスについては、令和3年度から葛巻町と九戸村を跨ぐ利用についても運賃100円で利用できるよう助成対象を拡大し、更なる利用拡大に努めた。
地域公共交通再編事業 【政策秘書課】	新規	【事業内容】 ・地域公共交通ネットワークの再構築（路線バス、通院バス、スクールバス等） 【事業実績】 ・公共交通マップの作成・配布	・住民の快適な暮らしを支える持続可能な公共交通を整備するため、公共交通マップ（路線図・時刻表）を作成し、多様な形態で運行されている公共交通の見える化を図った。 ・今後も引き続き、低コストかつ効率的な公共交通体系の構築に向け、事業者のヒアリング等、調査・検討を行う。
高齢者等外出支援事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・75歳以上の高齢者及び重度の障がい者等に対するタクシー利用助成 【事業実績】 ・申請人数：320人、助成金額：2,605,140円	町内でタクシーを利用した時に、タクシー料金の一部を助成することにより、在宅の高齢者や重度の障がい者の外出時の移動を支援することができた。

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
先端技術活用促進事業 【政策秘書課】	検討	【事業内容】 ・IoTやAI、ビッグデータ、5G等の先端技術の活用を推進 【事業実績】 ・実績なし	町民の利便性向上に向け、IoTやAI、ビッグデータ、5G等の先端技術の活用を推進するとともに、行政手続きのオンライン化等を推進していく必要がある。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
安全・安心を守るまちづくり	自主防災隊防災訓練等 実施回数	実績値	8回	2回	6回			17回	総務課調べ	
		達成状況		×	×					

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
消防団員確保対策事業 【総務課】	継続	【事業内容】 ・消防団員勧誘活動の推進 【事業実績】 ・消防団員数 令和2年度末：282人 → 令和3年度末：277人 (退団団員10名、新入団員5名 差引 5名減)	・消防団員の処遇改善に向け、消防団員報酬の改定（令和4年度分より適用）や、消防団組織の防災力強化に向けた装備品の充実や新訓練服の整備などに取り組んだところであるが、若年世代の人口減少などにより、消防団員の減少が続いている。 ・消防団員の処遇改善や負担軽減に取り組み、消防団員の安定的な確保と地域防災力の充実・強化を図る必要がある。
自主防災組織等体制強化事業 【総務課】	継続	【事業内容】 ・防災訓練等の実施、備蓄品等の充実確保 ・「地区防災計画」、「避難所運営マニュアル」等の策定 【事業実績】 ・自主防災隊による防災研修等に講師を派遣した ・防災士の資格取得を支援した（R3実績1名）	・新型コロナウイルス感染症により、集会等の活動自粛傾向が続き、防災訓練・研修等の実施回数は低水準で推移した。 ・感染症対策を講じた上で防災訓練・研修等を開催するなど、地域防災力の強化充実に向けた啓発活動を継続する。

■ 効果検証の結果

有識者会議及び議会の結果

<人口の社会動態>

- ・ 社会動態は、雇用と密接に関連していることから、働く場の確保が必要である。
- ・ 基幹産業を中心に、町にある仕事を具体的にPRしていくことが必要である。

① 若者世代が暮らしたくなる住宅環境の整備

- ・ 若者や民間企業の人々が住めるアパートが少ないのではないか。
- ・ 民間企業の人達は、町の定住住宅に居住できないため、民間企業の人達も、町の定住住宅に住めるよう、柔軟な対応が求められる。
- ・ 空き家対策については、所有権の関係上、難しい問題である。プロの不動産業者等が介入しなければ解決は難しいのではないか。
- ・ 古い建物は、壊して更地にした方が、活用（新築）しやすいのではないか。
- ・ “畜ふん”や“木質”バイオマスを活用した発電を行い、オール電化の住宅を整備してはどうか。（熱源は、野菜やイチゴなどの栽培に有効活用する。）
- ・ 農山村の強みを活かし、住宅だけでなく、自給自足を意識した暮らし方の紹介ができれば良いのではないか。
- ・ 「水洗化普及支援事業」や「住宅リフォーム支援事業」については、費用が高額になるイメージがある。価格の基準を示すなど、わかりやすいPRができれば良い。

② 交通ネットワークの充実

- ・ 高速道路（高規格道路）があれば生活が変わるが、一方で、盛岡中心の生活にならないよう、注意する必要がある。
- ・ 町民の足の確保について、路線バスだけでは限界があるのではないか。小型車両の巡回運行、スクールバスの共用、カーシェアリングの普及等が考えられる。

③ 安全・安心を守るまちづくり

- ・ 消防団の団編成について、昔から編成が変わっておらず、組織の見直しが必要ではないか。（婦人消防協力隊も同様）
- ・ 各自治会で要支援者を支援する（消防団にだけ頼らない）体制づくりが必要ではないか。

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和3年度末）

<進捗の目安>

- ◎ 順調 : 目標値以上
- 概ね順調 : 基準値以上
- × 努力が必要 : 基準値以下
- 実績なし

基本目標 3

地域資源を活かす“しごと”

基幹産業の新たな展開や商工業の経営革新により、町民所得の向上と若者が魅力を感じる雇用の創出を図るとともに、町が持つ魅力をより一層輝かせることで、交流人口の拡大はもとより、移住・定住人口の増加を図ります。

■ 数値目標の進捗状況

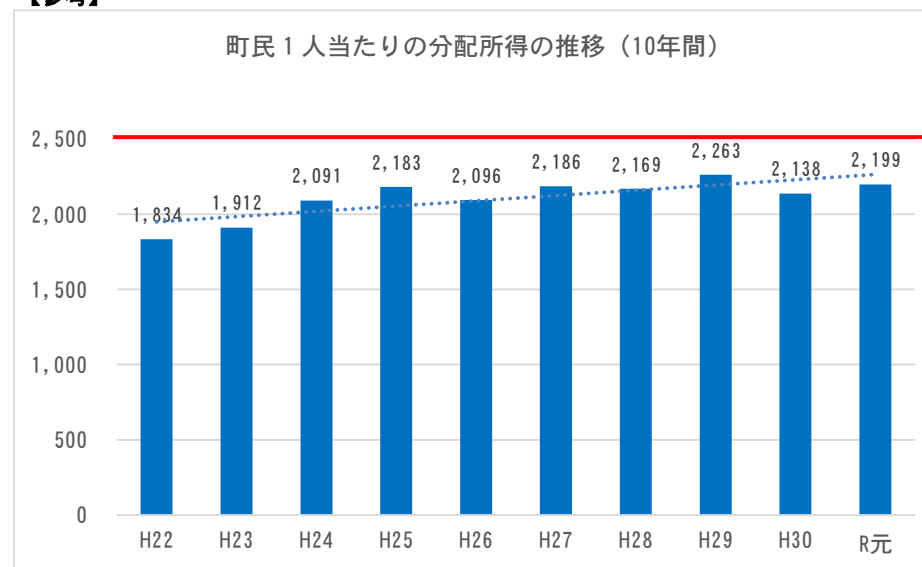
数値目標	項目	基準値	実績値				目標値	備考
		H30	R2	R3	R4	R5	R5	
町民1人当たりの分配所得	実績値	2,208千円	2,253千円	2,199千円			2,502千円	岩手県市町村民経済計算
	達成状況		○	×				

■ 数値目標の分析

【市町村民所得の状況】

- ・10年前（平成22年度）の1,834千円から、令和元年度は2,199千円と365千円増加している。
- ・県内における順位を見ると、平成26年度以降33番目（県内ワースト）となっている。
※平成21年度から平成25年度については、葛巻町以降は沿岸被災地であったもの。
- ・県平均との比較は、△583千円となっている。

【参考】



戦略 3

元気に満ちた“しごと”づくりプロジェクト

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
基幹産業の新たな展開と発展	生乳（生産量）	実績値	32,950t	32,611t	33,299t			47,600t	農林環境エネルギー課調べ	
		達成状況		×	○					
	再造林率	実績値	43.8%	46.6%	43.9%			50.7%	農林環境エネルギー課調べ	
		達成状況		○	○					

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
農業担い手研修助成 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・農業後継者が研修に要する費用への助成 【事業実績】 ・実績：0件	・新型コロナウイルス感染症による移動自粛等により研修を実施することが難しくなっているため、事業内容の見直しを図る必要がある。
農業経営持続化支援対策事業 【農林環境エネルギー課】	新規	【事業内容】 ・高齢農家や小規模農家等の農業経営を、維持、継続できる体制整備に必要な経費等に対する助成 【事業実績】 ・実績：0件	・新型コロナウイルスによる影響緩和のため令和2年度に限り実施した事業のため、令和3年度は実績無し。
草地畜産基盤整備事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・草地、飼料畑の造成整備や牛舎等の施設整備、機械導入に対する助成 【事業実績】 ・生産性の高い酪農経営の実現を目的とした、牧草地の造成、生産施設整備の支援。 【R3】 助成件数：1件 助成総額：116,000,000円 【R3繰越】助成件数：2件 助成総額：46,477,000円	・国の畜産公共事業による畜産経営基盤の強化対策として十分な活用が見込まれる。事業実施主体である岩手県農業公社と連携を図り、生産者の要望を取り入れながら事業を推進する。
畜産労働力負担軽減対策事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・畜産農家の労働力の負担軽減を図るため、除糞装置等の導入に対する助成 【事業実績】 ・助成件数：1件 助成総額 251,000円	・畜産農家の収益性の向上や省力化に向けて、個々の現況から事業内容にマッチするような方々に積極的な声掛けを行っていく必要がある。

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 中心的経営体が整備する、牛舎等の施設及び機械導入に対する助成（畜産クラスター事業） 【事業実績】 ・ 施設整備事業：1件 助成総額：207,695,000円 ・ 機械導入事業：1件 助成総額：15,125,000円 ・ 生産基盤拡大加速化事業(増頭)：5件 助成総額：9,522,000円	・ 当町の基幹産業である酪農の後継者育成が順調に図られるよう、県や町の補助事業等を活用しながら、関係機関と連携し積極的に支援を進めていく。 ・ 新たに事業を活用する農家の掘り起こしが必要であるため、事業のPRを強化する。
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 農畜産物生産管理機械等の導入に対する助成 【事業実績】 ・ 助成件数：4件 助成総額：8,166,000円	・ 事業要望者が多く、順番待ちの状態が続いていることから、予算の都合上、計画どおりの採択に至らないことがある。
基幹産業担い手確保支援事業 【農林環境エネルギー課】	新規	【事業内容】 ・ 酪農・畜産インターンシップなどを通じた担い手の確保 【事業実績】 ・ 「牛とミルクのお仕事見学会」を2回開催 ①県立盛岡農業高等学校（31名） ②県立農業大学校（13名）	・ 酪農や畜産を専門的に学ぶ県内の若者へ、広く町の仕事や暮らしの情報提供を行うことができた。 ・ 今後は、事業を継続するとともに、酪農や畜産及び関連する産業の担い手の確保と若者の定住につながる取組の検討が必要である。
草地更新支援事業 【農林環境エネルギー課】	新規	【事業内容】 ・ 良質の牧草生産による高品質な生乳生産を推進するため、草地更新に要する経費に対する一部助成 【事業実績】 ・ 助成件数：9件 助成総額 961,935円	・ 草地や粗飼料畑については定期的な更新作業が必要となってくることから、各地区の状況等も確認しながら、畜産農家への声掛け等事業を推進していく。
森林保全特別対策事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 再造林、除間伐、作業路整備、間伐材搬出に要する経費の一部を助成 【事業実績】 ・ 再造林：33.88ha ・ 間伐材搬出：2,364.294m ³	・ 森林整備事業（国庫補助）に町が嵩上げ補助することで、民有林の整備が推進されている。森林経営計画の作成促進及び計画に基づく森林整備が行われるよう引き続き指導に努める。
町産材利用促進事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 町民が町産材を使用して建物を新築または増改築する場合に、建築費の一部を助成 【事業実績】 ・ 助成件数：4件（使用材積351.9227m ³ ）	・ 使用件数が伸び悩んでいるため、ホームページや広報紙、くずまきテレビ等を活用し、町民への事業周知を図るとともに、建築業者への制度のPRを強化していく。
小さなふるさと産業活性化支援事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 農林産物加工機械を導入する経費の一部助成 【事業実績】 ・ 実績：0件	・ 昨年度は、申請予定の団体が新型コロナウイルス感染症の影響により経営が厳しくなったことから申請を見送り、実績が0件となった。 ・ 事業実施の意向はあることから、次年度以降も引き続き事業を進めていく。

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
くずまき型農畜産物加工ブランド力強化支援事業 <small>【農林環境エネルギー課】</small>	継続	【事業内容】 ・加工施設及び機械設備を導入する経費の一部助成 【事業実績】 ・実績：0件	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は事業の要望が無かったため実績は0件となった。 ・各団体からの事業要望があり次第、事業を進めていく。
道の駅レストラン整備事業 <small>【農林環境エネルギー課】</small>	新規	【事業内容】 ・町内の農産物を活用した飲食施設を整備 【事業実績】 ・道の駅レストラン建設業務、監理業務、備品購入等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月27日に工事が完了し、令和4年3月1日にオープンした。 ・経営が軌道に乗るよう、注視していく必要がある。
山ぶどう魅力発信事業 <small>【農林環境エネルギー課】</small>	新規	【事業内容】 ・山ぶどう振興とくずまきワインの更なるPRによる持続可能な産地確立に向けた支援 【事業実績】 ・葛巻町山ぶどう産地連携強化事業実行委員会補助 補助金額：458,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会への補助を行い、令和3年10月30日～31日にイベントを実施した。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、イベント開催の可否を含め内容を検討する必要がある。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
商店街の賑わいづくりと 商工業の発展	地元購買率の向上	実績値	46.9%	46.9%	45.7%			50.0%	いらっしやい葛巻推進課調べ	
		達成状況		○	×					

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
中心市街地活性化支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・中心市街地活性化イベントを開催するなど、賑わい創出による商店街への誘客と地元購買率の向上 【事業実績】 ・助成金額：2,721,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、四季のイベント開催が春と冬のみとなった。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた賑わい創出事業を検討していく必要がある。 ・他のイベント等と相乗効果を図る取組みの検討が必要である。
商店等設備導入支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・商店の設備導入及び店舗改装等の支援 【事業実績】 ・助成件数：9件、助成総額：3,944,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・商工業者の自主性が必要な事業であるが、一定の利用があることから、補助金による直接的な助成のほか、商工業者の計画的な設備更新等の意識改良にも繋がっている。
くずまき型持続可能な産業づくり支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・商工業者の技術取得や後継者育成、町内での起業等支援 【事業実績】 ・助成件数：1件、助成総額：51,830円	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体総会時に情報提供として説明している。 ・1件の申請があったが、利用実績は少ない状況であり、問合せは数件程度である。
継業支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・商工業の事業承継の支援 【事業実績】 ・助成件数：0件、助成総額：0円	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体総会時に情報提供として説明している。 ・制度創設から3年が経過するが、問い合わせは数件あるものの活用実績が無い状況であることから、事業内容の見直しが必要である。
空き店舗利活用事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・「空き店舗バンク」への登録支援 【事業実績】 ・実績なし	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体総会時に情報提供として説明している。 ・事業周知を行い問い合わせはあるものの、経営者・家族等が空き店舗バンクへの登録意識が低いことや、未登録の空き店舗は「店舗兼住居」が殆どで意欲的では無いため、関連制度を創設するなど、事業の見直しが必要である。
くずまき型DMO事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・まちなかエリアのリノベーションや起業家の掘り起こし及び起業の支援 【事業実績】 ・起業セミナー（参加者12人） ・「歩きたくなるまちなか創造ワークショップ」（参加者16人）	<ul style="list-style-type: none"> ・起業セミナーでは起業を志す人材の育成を図り、まちなかエリアの賑わい創出と新たな雇用の場の創出を図った。 ・まちなかエリアへのさらなる交流人口の拡大を目指して「歩きまわりたくなるまちなか創造ワークショップ」を開催し、公民連携による地域づくりについて機運の醸成を図った。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
魅力ある雇用の創出	新規起業者	実績値	1件	0件	1件			4件	いらっしやい葛巻推進課調べ	
		達成状況		×	○					
	新規就業者 (農業・林業・商工業)	実績値	3人	5人	8人			8人	農林環境エネルギー課調べ(農林業) いらっしやい葛巻推進課調べ(商工業)	
		達成状況		○	◎					

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
雇用促進事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・町内事業者が従業員を新規雇用した場合に助成 【事業実績】 ・若者(40歳未満)雇用:16事業所(24人) ・高年(60歳以上)雇用:2事業所(4人)	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあるものの、前年度と比較して新規雇用件数が若干上回る状況となった。 ・雇用機会の確保に向けて、状況に応じたさらなる対策を検討しなければならない。
企業誘致活動 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・首都圏における企業立地セミナー開催や展示会への出展、企業訪問などによる新規企業誘致 【事業実績】 ・盛岡広域市町で企業立地オンラインセミナー開催 ・youtubeで動画配信	・令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大規模イベントや企業訪問が出来なかったため、代替企画を実施した。 ・大規模での誘致活動が困難なことから、在京盛岡広域産業人会等との連携を図り、各種団体のネットワークを利用するなど、個別の企業誘致活動を検討していく必要がある。
特定地方公共団体無料職業紹介事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・くずまき雇用サポートセンターにおける、無料職業紹介事業、移住希望者や高校生の町内就職支援、地場産業の担い手確保支援 【事業実績】 ・登録事業所24社、求人登録5社、求職者8人、就職実績3件	・令和3年度も引き続き「くずまき雇用サポートセンター」より、無料職業紹介や相談などを行った。 ・今後は、事業内容を充実させ、町内における求人と求職のマッチングを強化していく。
くずまき型持続可能な産業づくり支援事業【再掲】 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・商工業者の技術取得や後継者育成、町内での起業等支援 【事業実績】 ・助成件数:1件、助成総額:51,830円	・各種団体総会時に情報提供として説明している。 ・1件の申請があったが、利用実績は少ない状況であり、問合せは数件程度である。
くずまき型DMO事業【再掲】 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・まちなかエリアのリノベーションや起業家の掘り起こし及び起業の支援 【事業実績】 ・起業セミナー(参加者12人) ・「歩きたくなるまちなか創造ワークショップ」(参加者16人)	・起業セミナーでは起業を志す人材の育成を図り、まちなかエリアの賑わい創出と新たな雇用の場の創出を図った。 ・まちなかエリアへのさらなる交流人口の拡大を目指して「歩きまわりたくなるまちなか創造ワークショップ」を開催し、公民連携による地域づくりについて機運の醸成を図った。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
町の資源を活用した 観光交流の促進	観光客入込数	実績値	523,665人	184,801人	187,218人				578,980人	いらっしゅい葛巻推進課調べ
		達成状況		×	×					

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
誘客・滞在促進事業 【いらっしゅい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・首都圏における町単独の催事開催及び出店、SNS等での情報発信、PR資料の作成 【事業実績】 ・いわて北緯40度物産会による催事1回 ・各種メディアによる情報発信多数 ・観光パンフレット・サイクリングマップの作成	・新型コロナウイルス感染症の影響により催事開催が難しい状況であるが、対策を講じた上での出店及び催事開催を継続し交流人口拡大を図っていく必要がある。 ・また、大規模な催事ではなくキャラバンや商談会等においてPR資料による情報発信や、観光客等のニーズを把握している旅行代理店等と連携し、旅行商品の造成等を実施するなど新たな展開が必要である。
くずまき型DMO事業 【いらっしゅい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・町の特色を活かした観光商品開発と地域の特産物によるお土産品開発を推進 ・若者・高校生による情報発信や起業家人材の育成を推進 【事業実績】 ・町の特産品を活用した商品開発（6商品） ・サイクルツーリズムの推進	・町の特産品を活用した商品開発事業では、第三セクター3社において新たに6商品が開発され、商品化された。 ・着地型観光の定着化を図るためにサイクルツーリズムを推進し、レンタサイクル実証実験やサイクルイベントを企画し、観光客受入体制の強化を図った。
外国人観光客誘客促進事業 【いらっしゅい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・台湾を中心とした外国人観光客誘客拡大のため、県等と連携したプロモーションの展開 【事業実績】 ・実績なし	・新型コロナウイルス感染症の影響によりインバウンド誘客は難しい状況であるが、機会ある度にPR資料等の提供を実施している。 ・コロナ禍後を見据え、多言語表示等受入環境に関する情報整備を進める必要がある。

■ 効果検証の結果

有識者会議及び議会の結果

<町民1人当たりの分配所得>

- ・ 所得の状況については、その原因等を調査・分析する必要がある。
- ・ 分配所得の性質について、「町民の豊かさ」とは異なるのではないかと。

① 基幹産業の新たな展開と発展

- ・ 酪農については、担い手の確保など、順調だと捉えている。
- ・ KPI「生乳（生産量）」の目標値47,600 tを達成するためには、各経営体の規模拡大が必要となる。企業の経営感覚をもった共同経営体や組合等の組織化に向けた検討が必要である。
- ・ 町外から若い世代の農林業の担い手を確保するために、インターンシップ等の取組みを積極的に展開していくことが求められる。

② 商店街の賑わいづくりと商工業の発展

- ・ 工業・建設業も概ね順調である。
- ・ 商業者の担い手の確保が求められる。

③ 魅力ある雇用の創出

- ・ 新たに“起業”するにはハードルが高い。既存の事業者が業務転換（発想の転換）し、新規事業の展開が図れると良いのではないかと。
- ・ 「特定地域づくり事業」の成果に期待している。

④ 町の資源を活用した観光交流の促進

- ・ 特になし

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和3年度末）

＜進捗の目安＞	
◎ 順調	：目標値以上
○ 概ね順調	：基準値以上
× 努力が必要	：基準値以下
-	実績なし

戦略4	“つながり”づくりプロジェクト
------------	------------------------

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
関係人口創出・拡大	関係人口	実績値	432人	613人	836人				552人	いらっしやい葛巻推進課調べ (葛巻ふるさと会員、ふるさと納税者、インターンシップ参加者)
		達成状況		◎	◎					
	新規移住相談件数	実績値	52件	48件	38件				77件	いらっしやい葛巻推進課調べ
		達成状況		×	×					

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
移住コーディネート事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・専任の移住コーディネーターの配置等により、個別のコーディネート強化 【事業実績】 ・担当課の職員が「移住コーディネーター」として移住相談に対応	・専任のコーディネーターを配置して、よりきめ細やかな移住・定住相談に応じられる体制を構築する。
Uターン者支援強化事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・Uターン希望者へのきめ細かな支援の充実 【事業実績】 ・移住者9世帯（うちUターン4世帯）	・町出身者を関係人口として位置付けて、定期的に町の情報を積極的に発信するとともに、Uターンを希望される方々に対してはそれぞれのニーズに沿った効果的な支援を行う必要がある。
体験ツアー・体験居住支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・移住希望者向けにツアーの提供、また個人で移住相談等のため来町する場合の交通費、滞在費の支援 【事業実績】 ・くずまき暮らし体験オンラインイベント2回（参加者28人）	・令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため体験ツアーは実施せず、オンラインでの交流イベントを実施した。 ・今後においても状況に応じて新たな手法でのPR事業を企画していく必要がある。

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
地域おこし協力隊制度活用事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・地域の活性化に取り組む地域おこし協力隊の人材確保を検討 【事業実績】 ・くずまき山村留学生寄宿舎ハウスマスター：3人 ・くずまき食のマイスター：1人	・地域振興において効果的な分野に協力隊を配置して振興施策を推進するとともに、協力隊任期終了後の町への定着に向けて十分な活動支援を講じる。
情報発信充実強化事業 【いらっしやい葛巻推進課】	拡充	【事業内容】 ・SNS、くずまきライブビジョン、メーリングリスト等を活用した各種情報発信、情報発信の一元化 【事業実績】 ・Facebook：記事投稿75回 閲覧数1,002件 ・メールマガジン：記事投稿19回 登録者182人	・現在展開しているSNS、くずまきライブビジョン、メーリングリスト等による情報発信について、町の関係人口の増加につながる取り組みであるが、より魅力的・効果的な情報発信に努めるとともに、その効果も検証しながら、町の情報発信のあり方について検討していく必要がある。
関係人口創出事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・町外滞在者を「(仮)くずまき応援団」として登録し、町へ多様な関わりとUIターンの促進 【事業実績】 ・ふるさと納税者（768人）、葛巻ふるさと会員（66人）、インターンシップ参加者（2人）の人数増加に向けたPRを展開	・町出身者や「葛巻ファン」といっていただける方々に町と継続的なつながりを持っていただけるよう「くずまき応援団(仮)」の設置に向けて体制整備を図る。
トヨタ地域貢献プロジェクト 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・トヨタグループと連携した地域課題の解決や地域活性化等に関する事業 【事業実績】 ①買い物支援事業（スーパーくずまき）の実施 ②災害時の支援協定に基づく取組み	・包括連携協定等に基づき、小屋瀬地区をフィールドに、トヨタTMFを活用した買い物支援事業（スーパーくずまき）が実施されている。 また、総合防災訓練等において、災害時の給電機能付車両の支援が行われている。 ・今後も引き続き、包括連携協定に基づき、地域の課題解決や関係人口の創出に結びつく取組みを実施していく。
地域間交流・連携強化事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・近隣市町村や全国の自治体等と連携した地域活力の創出や地域課題の解決等に関する事業 【事業実績】 ①みちのく盛岡広域連携都市圏（H28.1.15～） ※盛岡広域8市町 ②北岩手循環共生圏（R2.2.18～） ※北岩手9市町村	・盛岡広域8市町で構成する「みちのく盛岡広域連携都市圏」については、生活の質の向上や経済の維持発展を図るための事業が実施されている。 ・北岩手9市町村で構成する「北岩手循環共生圏」については、農林水産物や再生可能エネルギー、観光などの強みを活かし、脱炭素社会と持続可能な地域社会を目指した取組みが進められている。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値					目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
拠点施設機能充実	指標なし	実績値								
		達成状況								

重点施策	区分	令和3年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
交流拠点整備事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・役場庁舎を中心とした町の新たな拠点づくり 【事業実績】 ・新庁舎建設工事に係る実施設計業務、本体工事（第1期）及び関連業務の契約締結済	・間もなく本体工事（第1期）の完成を迎えることとなり、新庁舎の早期の共用開始を目指している。 ・また、2期工事の早期着工・竣工を目指すとともに、町道役場線・町道下町田子線の改良など、周辺環境の整備の検討を進めていく。

■ 効果検証の結果

有識者会議及び議会の結果

① 関係人口創出・拡大

- ・ 葛巻町にゆかりのある方々で、「ライフビジョン」を利用している人が多いことから、「ライフビジョン」による情報発信の充実が求められる。
- ・ 仕事がないと移住定住には結びつかないため、「特定地域づくり事業」の推進や、“森林”を活かした産業を創出が求められる。
- ・ 移住定住を促進するためには、個別にきめ細かな対応が必要となることから、早期に“移住コーディネーター”の配置が求められる。
- ・ 関係人口が伸びていることについては、これまでの努力の成果だと思われる。
- ・ 移住相談件数が減少していることについて、県や全国の動向はどのようになっているか、比較・分析が必要である。
 - ・ 移住者や地方に拠点を移す企業に対し、メリットのある施策が求められる。

② 拠点施設機能の充実

- ・ 特になし